

国語科 小学校6年

単元名 共に考えるために伝えよう
「みんなで生きる町」
光村図書「国語六上」(旧版)

単元の流れ (全14時間)

第1次<教材文を読み、学習活動のめあてと見通しをもつ>

【第1時】

- ・学習の目標・計画にしたがって、見通しをもつ。
- ・教材文を読み「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解する。

詳しい単元指導計画はこちら

CLICK

第2次<調査活動を行う>

【第2時】

- ・身の回りの施設や物について調べる計画を立てる。

【第3・4時】

- ・施設見学や観察など、調査(取材)活動を行う。

「活用」の力育成のために

①体験を取り入れ、現状や改善点を伝えたいという意欲を高め、切実な思いとして提案させる。

第3次<調査結果をまとめてグループで交流する>

【第5・6時】

- ・調査活動を通して分かったことや自分の考えを工夫してまとめ、グループ交流の準備をする。

【第7・8・9時】

- ・調査して分かったことや自分の考えを発表し合う。

「活用」の力育成のために

②お互いの考えを聞き、話し合うことで多面的な考え方や現実性に自ら気づき、考えをよりよくしようとする意欲を高める。

第4次<提案文を作成し、取材先に届ける>

【第10時】

- ・提案文を作成する。

【第11時】

- ・提案文を交流する。(本時)

【第12・13時】

- ・提案文を推敲し、書き上げる。

【第14時】

- ・調査先に提案文を届ける。
- ・単元の学習を振り返り、まとめる。

「活用」の力育成のために

③グループによる話し合い活動を取り入れ、よりよい表現方法を追究させる。

単元構成の意図

- ・本単元では、①自分の考えを的確に伝えるための効果的な話し方や書き方を工夫すること②話し合い活動においてお互いの考えを深め、よりよい提案に練り上げること③誰もがよりよく暮らせる社会の実現に向け、自分たちの考えを積極的に発信していく意欲や態度を育てることをねらいとしている。
- ・教材文で「ユニバーサルデザイン」の考え方を知り、何気なく使っている施設や物を見直す視点を明らかにさせる。思いもしなかった工夫や立場による差異を感じさせることにより、問題意識を喚起させたい。
- ・提案文を作成する活動では、読み手に分かりやすい書き方や記述となるように十分考慮させ、さらに、より多くの人に読んでもらうことを通して新たな解決策を見出したり自分の果たす役割を実感したりする中で、社会の一員としての自覚を高めさせたい。

「活用」の力を育てるポイント

- ①体験を取り入れ、現状や改善点を伝えたいという意欲を高め、切実な思いとして提案させる。
- ②お互いの考えを聞き、話し合うことで多面的な考え方や現実性に自ら気づき、考えをよりよくしようとする意欲を高める。
- ③グループによる話し合い活動を取り入れ、よりよい表現方法を追究させる。

評価問題

HOME

本時の流れへ